

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	空港舗装の非破壊劣化評価法に関する調査業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和7年7月31日
履行期間（至）	令和8年2月27日
契約担当官等の氏名並びに その所属する部局の名称 及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 宮島 正悟 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約を締結した日	令和7年7月31日
契約の相手方の商号 又は名称及び住所	ティーアール・コンサルタント（株）
	代表取締役 二木隆
	埼玉県鴻巣市上谷1456番地
随意契約によることとした 会計法令の根拠条文	会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
随意契約による こととした理由	本業務は、空港舗装の整備・メンテナンスの効率化・高度化に向けて、空港舗装の非破壊劣化評価法を検討することを目的として、屋外試験フィールドにおいて実物大の空港舗装を製作し、各種劣化を再現したアスファルト混合物層と路盤についての非破壊調査等を実施するものである。 本業務の実施にあたっては、空港アスファルト舗装におけるアスファルト混合物層や路盤の劣化を再現し、非破壊による劣化評価を行うため、空港のアスファルト舗装の劣化機構や非破壊構造評価方法に関する専門的かつ広範な知識が要求される。また、新たに作製する舗装のアスコン層において砂利化・層間剥離・高空隙率を再現し、既設舗装の路盤では粒状材のゆるみを再現する必要があり、表面に近いアスコン層の劣化と比較的深い路盤の劣化を非破壊調査で検出する必要がある。そのため、アスコン層と路盤の劣化の再現方法とそれらの評価方法に関する構想力・応用力が要求される。これらが業務の成果に密接に関係することから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式に準ずる方式により公募を行った。 その結果、2者から技術提案があり、業務実施条件を満たした2者の業務実績及び技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人が、本業務を遂行するのに最もふさわしい法人であると判断された。 以上の理由から上記法人を選定し、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。
予定価格 （消費税及び地方消費税含む）	¥24,508,000
契約金額 （消費税及び地方消費税含む）	¥24,420,000
落札率	99.64%
再就職の役員の数	

プロポーザルの評価結果

1. 業務名 空港舗装の非破壊劣化評価法に関する調査業務
2. 特定した提案者 ティーアール・コンサルタント株式会社
3. 特定した提案者の住所 埼玉県鴻巣市上谷1456番地
4. 特定した提案者の代表者氏名 二木 隆
5. 特定日 令和 7年 7月 17日

項 目	配 点	ティーアール・ コンサルタント 株式会社	株式会社レイ ンボー・コンサ ルタント		
1. 技術者資格					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	4	4		
2. 業務実績					
同種業務、類似業務又は同種研究、類似研究の実績	5	5	3		
3. 業務成績及び表彰	10	10	0		
「配置予定管理技術者」の令和2年度から令和5年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局、及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	5	0		
「配置予定管理技術者」の令和2年度から令和5年度末までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	5	0		
4. 技術提案書の内容	120	58.000	36.000		
1) 実施方針・業務フロー	30	4.000	0.000		
2) 特定テーマに関する技術提案	90	54.000	36.000		
特定テーマ1 アスコン層の劣化再現方法を含む調査方法の工夫・留意点	45	27.000	18.000		
特定テーマ2 路盤の劣化再現方法を含む調査方法の工夫・留意点	45	27.000	18.000		
合 計 (小数点第3位以下切り捨て2位止め)	140	77.00	43.00		